

認知症

驚かせない 急がせない

製鉄記念病院 林科長が解説

製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の「第24回市民健康セミナー」が1日、室蘭市知利別町の同病院がん診療センターで開かれ、市民ら約60人が「認知症の診断と治療」について理解を深めた。

同病院脳神経外科の林征志科長が、認知症の種類や症状、診断について解説。新しいことが覚えられない、何をしたらいいのか分からない、段取りができないなど、周囲で起こっている

る現実を正しく認識できない「中核症状」や、睡眠障害や暴言・暴力など、心理面・行動面の症状「周辺症状」などを説明した。

また、「早期の治療によって、進行を遅らせたり、緩やかにし、本人ができることをなるべく維持することが大切」との治療方針を紹介。



認知症の診断と治療について解説する林科長

認知症の人と接するポイントとして「驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない」とアドバイス。市民らも熱心に耳を傾けていた。

(松岡秀宜)